

岸田総理大臣閣下

(参考 同じ文章が、衆議院議長、参議院議長にも)

宇田信一郎

私の媒酌は、岸 信介先生でしたので、ご参考に安倍先生への弔文をお送り致します。

日本は、国際社会へのリーダー国とならねばなりません、その為には、日本が民主主義国のモデルになる事は、その一つの要件です。先日の悲劇は、日本がまだ未熟な社会であることを印象付けされました。国葬になることは、日本の課題に尽くされた安倍元総理への感謝とともに、日本の社会が世界での民主主義国の、モデルになる事への、国民と社会の反省と決意への現れとしたいものです。

この書簡に、今後の日本の進路に関連する私の文書をご参考に同封させていただきます。

- 1984年の中曽根総理への、父の進言により実現したマッカーサー駐日元大使と私が1986年冷戦下のソ連に行き、INF条約（米ソ中距離核爆弾廃止条約）と東西融和が導かれたことが、昨年1月の日本外交協会報に掲載さ

れたもの。

- 昨年暮れから、日本記者クラブのホームページに掲載されている「時代の一端と日本の進路」と題する拙稿
- ウクライナ侵攻後の私の「国際社会とリーダー国の役割」
- 高圧経済のもとで政策実施への財政政策の財源を確保しつつ財源の問題点を解消する私の進言として「財政安保への道」

ご政策のご参考にしていただければ幸いです。

令和4年7月16日

安倍洋子様 安倍昭恵様

偉大なる政治家 安倍晋三先生のご逝去に哀悼の念を捧げ、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

亡父は、戦後最初の総選挙で議員となり、新憲法発布にも携わりましたが、

朝鮮戦争後、憲法改正を含む保守合同が必要と考え、主宰する新政研究会の基に

岸 信介先生、鳩山一郎先生はじめ戦前戦後の124名のリーダーの賛同を得て運動を推進しました。私は、1953年12月14日、国家共済会館で終日開催された推進会議のただ一人の生存者です。

父は、1955年の保守合同成立後、戦後の日米関係にとって重要な

1960年の安保改正の時は、議員として岸総理の総裁補佐役として実現に微力を捧げました。60年の時の米国のマツカーサー日本

大使と私が、1984年中曽根総理への父の提言に基づき、1986

年冷戦下のソ連に行き、米ソ和解とINF条約（米ソ中距離核爆弾廃止条約）の成立とベルリンの壁崩壊の後の東西融和の時代に繋がっ

ています。（昨年1月の日本外交学会報にその経緯が掲載されました）

本年のウクライナへのロシアの侵略により、時代が逆行していますが、日本が国際社会とリーダー国の役割について、80年代に示したような地球での国々の共存へのヘゲモニーをとつて行くことが要請されています。80年代に日本が取ったイニシアチブについては、日本プレスセンターのホームページに、時代の一端と日本の進路と題してその背景を示した私のエッセーが、本年初めより掲載されています。

1964年、私が、岸 信介先生に御媒酌をしていただいた頃、安倍晋三先生はまだ御幼少でしたが、それ以来、陰ながら、応援してきました。

2006年、小泉政権を引き継がれたとき、家内ともども御貴宅にお伺いしてお祝いを述べさせて頂いたことを思い出しております。(家内の父は、学術会議議員、解剖学会会長、大学学長を務めました) その時は申し上げなかったのですが、小泉総理の御父上は、父の保守合同運動の最初の参加者であり、また西郷隆盛の夫人イトを先祖の一人にもつ家内のいとこの増田寛次郎東大医学部教授と小泉家が縁戚でしたので、小泉総理には時折、提言をしていました。小泉政権の末期に、日米間を飛行機の搭乗時間だけで、2年に及ぶという米国の要

人ケントカルダーが来日して、国際文化会館で、これからの世界は日米中の関係如何で、決まっていくと講演したのを出席して聞いていた私は、小泉総理に貴方の後継者は、この点に留意すべきであると進言しました。政権を継承された安倍晋三総理は、配慮を充分になされたと存じます。

2012年、自民党が、選挙で復活した時、私は、ある研究会で今度の安倍内閣が日本が再生、復活するか、衰退するかの分かれ目になると述べ、アベノミクス、AIを含む新産業革命、イノベーション、ハードとソフト、インフレターゲット、経済成長戦略、労働分配率の向上、政府・日銀の協力、財源安保の確立、外交・安全保障、防衛のあり方、日本が民主主義国のモデルになること、憲法改正など政治の指導力を期待しました。それから10年になりますが、安倍内閣で着実に日本の進路が開拓され、脱炭素社会の構築なども加わって、後継内閣も同じ課題を背負っています。

岸 信介先生のご逝去の時は、病室でご尊顔を拝見致しました。

安倍晋三先生は思いもかけない悲しいご逝去でしたが、今後の日本と国際社会の進むべき道を見守って頂けると信じます。

宇田信一郎、宇田 照